

# ヘマラートで更なる飛躍を目指す企業

## Matsui Eastern (Thailand) Co.,Ltd.

自動車等キーロック及びスイッチの請負組立



顧客の期待上回る高品質・高水準品を提供  
職業訓練制度で高卒者を採用。地域貢献も

マツイ・イースタン(タイ)は、愛知県豊橋市に本社を置くキーロックやスイッチなど自動車部品量産請負製造業「マツイ株式会社」のタイ法人。2003年に設立。7・4ライ(1ライ=1600mm)の土地に建つ、延床面積約1000万㎡の工場で操業を行っています。手掛けるのは、主に自動車の運転席回りにある各種スイッチ類やミラー、パワーステアリングなどの量産部品。必要な部品・部材を主にタイ国内で調達し、アッセンブリした上で部品メーカーに納入しています。

請負量産を得意とはしていませんが、大ロットから少量まで顧客ニーズには柔軟に対応することが出来ます。取扱品目も樹脂や基板など多種多様で、さまざまな製品に当社の技術が活かされています。行動指針は「すぐやる・かならずやる・できるまでやる」。高い技術力を背景とした、提案型の積極的な営業が取引先企業との信頼の礎です。開発する技術、製品化する技術、量産する技術の3つを「マツイ魂」と呼んでいます。

製造業の集積するタイで、部品部材の現地調達はほぼ問題がなくなりました。求められているのは、玉石混合、数多ある部品部材点数の中から最適なものを、価値の向上に欠かせないものを見つけ出し、組み立てる確かな眼と技術。日本で半世紀を超える当社の蓄積したノウハウと伝統が、これを可能としています。顧客の期待を上回る高品質、高水準、短納期。必要とされる所以です。

さまざまな産業が進出し、労働者の賃金が上昇した結果、タイのモノづくりは大きな変

革の時を迎えています。こうした時代のうねりにも当社は果敢に挑戦を続けています。その一つとして、まず取り組んでいるのが部品品の内製化。8年前の大洪水をきっかけに導入をした3台の成形機はその一例です。内製化の推進は生産リスクの分散にも貢献します。取引先への納品を止めないためにも、こうした取り組みを続けていく考えです。

松井宏益会長は、カンボジアやラオスなど周辺国を合わせた「タイ・プラスワン」の必要性も痛感しています。賃金が上昇した結果起こるコスト競争。だからといって製品への安易な転嫁はできません。「安かろう、悪かろう」にも絶対に応じられません。その一方で、市場が成熟しつつあるタイでは、新たな市場やビジネス環境も育ってきています。周辺国との棲み分けを模索するなどして、解決策の構築を進めたいとしています。

5年前からは、地域貢献を目的とした職業訓練制度も導入を始めました。今なお所得格差の残る東北部イサーン地方から、経済的な理由などで進学を断念した高校卒業生(満18歳)を訓練生として採用。2年間の時限付きで雇用する仕組みです。この間の賃金の支給はもろんのこと、住み込みのための寄宿舎も提供します。

職場では一般のワーカーとともに働き、製造業の基礎と社会人としての素養を積んでもらいます。同時に、日系企業ならではのカイゼン(改善)や整理整頓などの5Sについても理解を深めます。こうして日本と同じ製造ラインで2年間働き、スキルを磨いた後は、各自が希望する新しい職場へ。この制度を活用して、これまでに約40人の若者が果立っていきました。

当社工場が入居するイースタンシーボード工業団地(ラヨン)は、チョンブリー県との県境に近い内陸部にあります。洪水の心配とは無縁で、供給上水道や電力にも何ら問題はありません。高規格道路などの交通網も整備されており、日本人が多く居住するシラチャ1へも車で40分と各地へのアクセスも抜群です。近隣にはワーカーも多く居住しており、これまで採用に困ったことはありません。日系などの取引先も周辺に集積しており、この上ない好立地と言えるでしょう。

工業団地を管理するWHA社のスタッフは、いつも明るくフレンドリー。「困ったことはありませんか」と定期的な巡回サービスも行っています。当社をはじめ入居企業からの連絡や問い合わせへのレスポンスも早く、困った時に頼ることのできる力強い味方です。松井会長も「良いご縁に恵まれることができました」と話しています。マツイ・イースタン(タイ)のこれからの飛躍が楽しみです。

